



## 排水ポンプ車操作訓練を実施

8月22日、妙慶川にて市職員と国土交通省三重河川国道事務所職員により、排水ポンプ車操作訓練を実施しました。排水ポンプ車には排水ポンプと発電機、ホースなどが搭載され、1秒間にバケツ（10リットル）50杯分に相当する水を排水可能です。異常気象などにより大きな被害が予想されるような場合には、市のポンプとあわせることにより、浸水被害を軽減することができます。



## 生涯、青春の心を持ち続けたい

日本洋画の革新を目指して1914年に始まった二科展に、安楽島町の小鯛照さん（78歳）が描いた「星物語」が入選しました。今年で5年連続の入選となる小鯛さんは「鳥羽の景色を見て心を磨き、絵画のインスピレーションをもらっている。年齢を重ねても、夢や希望は絶対に必要」と語ってくれました。東京の国立新美術館での展示は終了しましたが、二科展巡回展の東海展は12月20日～25日に愛知県美術館ギャラリーで開催されます。



## 浦村かき初水揚げ

9月19日、浦村町で今シーズンのカキの水揚げが始まりました。

浦村町は県内最大のカキの産地で、75業者が1,250基のいかだで養殖を行い、年間約3,500～4,000トンのカキが生産されます。

浦村かき組合の尾崎泰二委員長は「今年はまだ小粒だが、実入りは良い」と話してくれました。

浦村かきは、名古屋や東京などに出荷されるほか、地元のカキ小屋で提供されます。



## 熱闘離島甲子園!!

答志中学校野球部員と菅島在住の鳥羽東中学校野球部員16人が、8月22日～26日に島根県隠岐の島町で開催された第9回全国離島交流中学生野球大会に出場しました。

本大会には、全国の離島から23チームが集まり、野球を通じて島と島との交流を図りました。

鳥羽市代表チームは、初戦で長崎県五島市の五島バラモンと対戦し、3対9で惜しくも敗れましたが、全国の離島で暮らす中学生と交流を図りました。